



森のなかま

2018年2月号

NO. 118 (継続263号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp>

発行人 久保 重明

〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Tel.046-297-0301・Fax046-297-0302

森林部会 平成29年度『枝打ち研修会』

日時:平成29年12月10日(日)9:30~15:00 晴れ 場所:南足柄市塚原(塚原水源林)

作成・編集:森林部会、監修:技術部会で2017年2月にリリースした「枝打ち作業マニュアル」に基づいた研修が12月10日に行われ養成講座を修了したばかりの15期生からも5名のメンバーが参加しました。

(写真撮影: 滝澤 洋子 5期、飯澤 恒 9期)

◆ 森林部会 平成29年度 枝打ち研修会に参加して < 森林部会 江上 徹 13期 >

森林部会枝打ち研修会が12月10日、南足柄市塚原水源林において受講者23名に講師5名、スタッフ3名の31名によって開催された。

研修は5班に分かれ、講師から枝打ち方法の説明を受けたのち、過去の枝打ち跡の観察に始まり、梯子を利用した枝打ちを行った。「枝打ち作業マニュアル」の枝打ち方法に、枝座(しざ)[枝隆(しりゅう)]を残すように切断する、とある。これまで教わったことであるが、枝打ち跡を観察すると出べそ様の跡が認められた。私には実際の森林作業で切断箇所をじっくり観察することはまれであったが、今回は枝座をよく観察して切断し、切り口を繰り返し確認した。枝は幹から様々な方向に張り出し、枝座部の形状は多様であった。幹を傷つけることなく適切な位置(方向)で切断することの難しさを実感した。また、梯子と安全帯を着用しての研修は、作業手順や安全作業の振り返りにも最適であった。マニュアルを基礎に講師のアドバイスを得て実地研修できたことは、インストラクターとして技術力と指導力のアップにつながった。

<参加者> 佐藤⑤、稲辺⑤、有坂⑧、内野⑨、水津⑨、湯浅⑪、門澤⑫、安井⑫、
宇田川⑬、江上⑬、北村⑬、藺田⑬、武井⑬、笠原⑭、鈴木⑭、牧石⑭、水野⑭、立花⑭、
大高⑮、大見⑮、河西⑮、竹内⑮、妙泉(よしずみ)⑮
以上 23名

<講師> 福島⑨、松永⑪、大橋⑪、斎藤⑬、焼尾⑬

<スタッフ> 滝澤⑤、辻村⑨、飯澤⑨

研修前の林内



正しく枝打ちされているか



一段梯子のセット方法は?



安全帯の使い方は?



(次ページに続く)

(前ページより)

どうしたものかな?



大丈夫かな?



ベテランの技?



研修後の林内



森林部会『親睦会』が開催されました。 場所:伊勢原市三ノ宮ひじりの森フィールド
平成30年1月7日(日)、快晴、参加者:29名

<森林部会担当幹事 北村 貢 13期>

今回の担当スタッフ:滝澤⑤、小野⑦、内野⑨、斉藤⑬、北村⑬

(写真撮影:広報&森林部会 松本⑪)

楽しい一日を約束してくれる快晴でした。伊勢原駅北口バス乗場に9時20分に集合、バスと徒歩で三ノ宮「ひじりの森」活動フィールドに到着。間伐杉で出来たベンチの並ぶ整備された広場で、滝澤森林部長の挨拶、佐藤さんから3haの「ひじりの森」の現在に至る経緯と活動内容、継続中の保全活動へのお誘い等のお話がありました。小野さんの作業説明に続き、水上さんの指揮で準備運動。佐藤さん、相馬さん、小野さんを班リーダーとする3班に分かれて「ひじりの森」の径路巡りと軽作業へ。枯れ竹処理等1時間程の作業でしたが、さすがは森林インストラクターの集い、相当な頑張りでした。広場に戻り熱々のトン汁で昼食を済ませ懇親会の運びとなりました。ベンチを囲んで自己紹介。近況報告・趣味・今年の抱負・森林インストラクターへの強い思い等、大変貴重なお話を拝聴出来ました。又当地や新定着(やどりき水源林)の話も出ました。

森林部会が里山整備と人工林整備をしているのをご理解頂きました。片付けを済ませて14時に解散。国道246のバス停迄30分程で降りて来ました。

参加者

佐藤⑤、相馬⑤、滝澤⑤、小野⑦、飯澤⑨、内野⑨、辻村⑨、大澤⑩、松山⑩、湯浅⑩、松本⑪、真貝⑪、大橋⑪、石川⑫、宇田川⑬、北村⑬、斉藤⑬、水上⑬、岩田⑭、小松⑭、鈴木⑭、立花⑭、西岡⑭、牧石⑭、河西⑮、末原⑮、竹内⑮、鶴井⑮、妙泉⑮



今年の安全祈念と活動促進祈願を山の神社に拝礼



参加者全員で

自然観察部会 第89回森林探訪 共催(公財)かながわトラストみどり財団

『初冬の大磯・鷹取山と霧降の滝～鷹取神社の自然林と湘南丘陵を歩こう～』

日時:平成29年12月2日(土)8:40～15:30 晴れ 参加者:51名

場所:平塚駅⇒⇒生沢～鷹取山～ゆるぎの丘～吉沢の池～霧降の滝～松岩寺⇒⇒平塚駅

<自然観察部会 小池 哉 12期>

「初めて歩きました。こんな素敵な場所があるなんて今まで知りませんでした」

「とても景色がよくて、いいコースでした」

「内容も眺めもよく、楽しめました」――。

参加者からこんな声を聞くことができた今回のコースは、部会の運営委員会でのコース検討で出た湘南鷹取山案と霧降の滝案を“合体”させて誕生しました。

鷹取神社の社叢林(いわゆる鎮守の森)には、スタジイやタブノキの巨木が見られる照葉樹林が広がります。気持ちのよい尾根道を歩きながら、鹿の子模様の樹皮が特徴的なカゴノキや、神奈川県大磯の高麗山や千葉県房総半島南部、九州の一部などでしか見ることができないモクレインなどを、じっくりと観察していきました。

昼食場所は「ゆるぎの丘」です。手前には渋沢丘陵と弘法山、その先に大山が大きく聳え、更に丹沢の峰々を望むことができます。天気もよく、絶景ポイントでの昼食は、お腹も気持ちも“満腹”になったことと思います。

午後は吉沢の池や霧降の滝を巡りましたが、眺望を堪能して足取りが軽くなったようで、予定時間より早く解散場所に到着しました。

今回のコースを提案したひとりとして参加者の反応が気になっていましたが、満足した表情の参加者51名全員の笑顔、松岩寺バス停で見送ることができました――。

財団 南橋 様、看護師・青木 様

インストラクター CL小池⑫、L小笠原⑩、L小貝⑭、安部⑤、内野⑨、女川⑨、村井⑨、小林⑩、松永⑪、山口⑭、河西⑮

写真撮影:内野ミドリ⑨、小池⑫

出発前のオリエンテーション



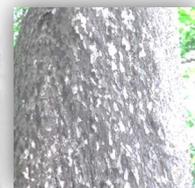
鷹取神社前で



尾根道での観察



鹿の子模様のカゴノキ



モクレイン



ゆるぎの丘から大山を望む



未だ残っていた吉沢の池の紅葉



お疲れ様 班毎に「振り返り」を



森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

第22回

幅広いタンニンの用途

香りの図書館 館長 谷田貝 光克 氏

タンニンの用途のなかでも古くから利用されてきたのが皮鞣し(かわなめし)です。牛・豚やイノシシ、クマなどの野生動物の生皮は、菌類などの微生物に侵され腐敗しやすく、また、生皮のままでは堅くて容易に使えません。そこで生皮を柔らかくするのにタンニンが用いられます。この作業が皮鞣しです。「鞣し」の「鞣」の字は「革」と「柔」という字から成っていることから鞣しの意味するところがわかります。そして生皮には「皮」という字が使われますが、鞣したものは「革」なのです。革になると腐敗しにくくなります。

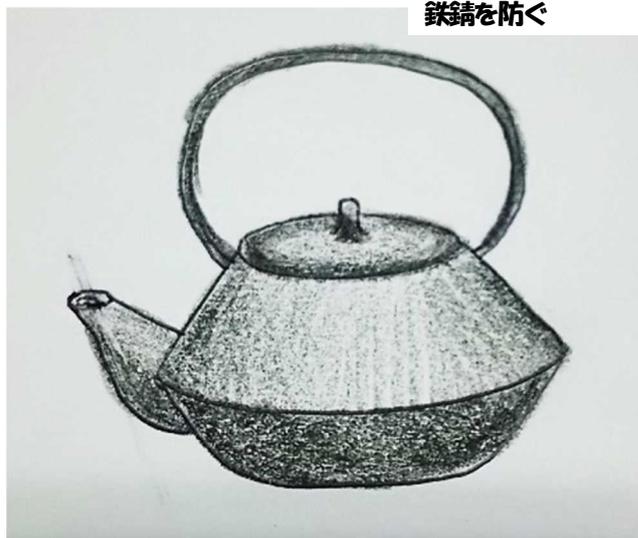
鞣しは古くは叩いたり、こすったり、揉んだりする物理的方法や、煙で燻したり、タンニンを用いたりする方法が使われていました。今では鞣しに化学薬品のクロム化合物を使うことがよく行なわれていますが、化学薬品を使う鞣しには鉄鞣し、ミョウバン鞣しなどもあります。クロム鞣しが行なわれる以前にはタンニンによる鞣しが主流でした。

タンニンなどの物質を使う鞣しは生皮を作っているコラーゲンなどのタンパク質に化合物を作用させてタンパク質の分子間に橋かけ構造を作る工程です。タンニンのように反応性の高い水酸基をいくつも持ったポリフェノールは鞣しに都合の良い構造をしているのです。

タンニンはインキ製造にも使われてきました。タンニンの中ではよく使われてきたのが虫こぶに含まれているタンニン没食子です。没食子に水を加えると浸出してくる液に硫酸鉄(Ⅱ)を加えると没食子酸鉄(Ⅱ)となり、これで紙に書くとはじめは青色ですが、しだいに空気に触れて酸化されて没食子酸鉄(Ⅲ)の不溶性沈殿物となり、青黒色となります。これがブルーブラックインクの原理です。没食子インキは欧州では古代から中世を経て現代までつけペン用の主要な筆記用インキでした。しかし、万年筆の時代になるとそれに似あったインキも製造されるようになり没食子インキの利用は減少しました。

鉄と反応するタンニンは醸造用水に含まれる鉄の除鉄や水道水の除鉄にも効果があります。また、錆を防ぐ働きもタンニンにはあります。古くから煎茶で煮沸して鉄釜などの鉄錆を防ぐことが行なわれてきました。煎茶に含まれるタンニンが鉄の赤錆を黒錆にするのです。これはタンニンの還元作用によります。

タンニンが鉄釜の鉄錆を防ぐ



タンニンの工業的利用に合板用接着剤としての利用があります。フラボノイドという化合物がいくつもつながった縮合型タンニンに属するタンニンがホルムアルデヒドと作用して接着剤としての機能を発揮します。この種のタンニンにはオーストラリア原産のアカシアモリシマの樹皮から得られるワトルタンニン、南米アルゼンチンに分布するケブラッチョの心材からケブラッチョタンニンなどがあります。

草木に含まれるタンニンは草木染でも合成染料では表せないような自然のやさしい色を発揮します。

タンニンの利用で最も身近なものの一つが薬用としての利用です。民間薬として利用してきた薬用植物の中にはタンニンの作用によるものが数多くあります。薬用としてのタンニンについては次回にご紹介することになります。

(イラスト 広報部 大塚 ①)

活動短信

今回の掲載は平成29年11/3～11/11です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。



フリーイラストより



楓蔦黄11/2～11/6頃
もみじつたきなり
楓や蔦が色づく
第五十四候 霜降 未侯

山茶始開 11/7～11/11頃
つばきはじめてひらく
山茶花が咲き始める
第五十五候 立冬 初侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずペタ書きで結構です。

写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

日付(できれば時間と天気も)

場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参加者 人数

神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター (○数字:期) 研:研修枠

以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください

リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 街頭キャンペーン川崎 (川崎市民祭り)

日 平成29年11月3日(祝・金)、4日(土)、5日(日)
9:00～16:30

場 川崎市川崎区富士見公園 かわさき市民祭り会場

参 3日間の合計 765名

11/3:294名(大人163、子ども131名)

11/4:229名(大人107、子ども122名)

11/5:242名(大人122、子ども120名)

財 11/3:内田様、11/4:佐々木様、11/5:初山様

イ 11/3:L森本⑤、高橋③、足立④、安部⑤、鈴木⑤、
武本⑦、小野⑦、斎藤⑧、小沢⑨、村井⑨、青木⑩、
松本⑪、澤村⑫、大原⑬、溝田⑬、立花⑭ の16名
11/4:L足立④、渡辺③、落合③、高橋③、島岡③、
安部⑤、鈴木⑤、富樫⑥、武本⑦、小野⑦、渡部⑦、
中島⑨、青木⑩、宮下⑩、大塚⑪、溝田⑬ の16名
11/5:L森本⑤、菊地①、渡辺③、足立④、相馬⑤、
安部⑤、武本⑦、渡部⑦、中島⑨、村井⑨、宮下⑩、
大塚⑪、松本⑪、澤村⑫、大原⑬、溝田⑬ の16名

人口が150万人を突破した川崎市での最大のお祭りである「かわさき市民祭り」に今年も出店、恒例のキャンペーンを展開した。

新たな取組として、横浜開港祭・反省会での会員からのコメントを採用し、クラブ参加者から参加費@100円をいただき、全額を緑の(羽根)募金に充てることとした。

幸い、特段のクレームもなく執行出来、良かったと思いました。

(記 森本 正信 ⑤)

【詳細は平成29年12月号トップページに掲載されています】

◆ 横浜市立上寺尾小学校

「総合的な学習の時間～森林の動植物を知ろう～」

日 平成29年11月7日(火)13:30～16:30、晴れ

場 横浜市栄区上郷 自然観察の森

参 小学4年生89名 教師等9名

イ L菌田⑬、伊藤⑦、渡部⑦、内野⑨、村井⑨、
大原⑬、長尾⑬、真部⑬、國弘⑭

9班に分かれて「ミズキの道」というルートを観察しました。落葉広葉樹と常緑広葉樹の違いや黄葉と紅葉の仕組みを知ると、子どもたちは色づいた葉を探したり常緑広葉樹の葉を触ってみたりしていました。歩きながら樹木の葉の付き方や名前の由来を聞き、葉の臭いを嗅ぎ、根の出たドングリを探しました。棘のあるキンミズヒキの種子やヌスビトハギの種の沢山の毛などを見て、ズボンに付く種が様々に工夫していることにならずにいました。

また、卵を持ちおなかの大きな雌のジョロウグモと雄との大きさの違いに驚きの声を上げていました。クモは気持ち悪いといっていた子どもたちも、目の細かい巣をつくる苦労や都会への適応を知ると、見つける度に喜ぶようになっていました。池ではカエルがコロコロと鳴き交わしており皆を驚かせました。

観察終了後には、「木の形も葉もそれぞれ異なることが分かった。」「キノコが木を分解することを知った。」等の感想を聞くことができました。先生からは「ここには幾度か来たが、これほど豊かで面白いところとは知らなかった。」とのお話を頂きました。花の季節にまた見に来てほしいと思いました。怪我もなく無事に終了することができました。

(記 國弘 明子 ⑭)

かながわしずくちゃんホームページは下記URLで見ることができます。



<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f530038/p780119.html>

◆ キリンビール横浜工場

間伐活動及び自然観察

- 日 平成29年11月11日(土)10:00~13:00、晴れ
 場 松田町寄やどりき水源林キリンビールパートナー林他
 参 キリンビール様 社員及び家族 69名
 県 水源環境保全課:増子様、大西様、
 自然環境保全センター:1名
 イ L西出⑫

間伐:佐藤⑤、湯浅⑪、石川⑫、山崎⑫、稲野辺⑬、
 立花⑭、牧石⑭ 自然観察:赤崎⑫、小沢⑨
 雨も上がって、絶好の活動日和となりました。開会式の
 後、間伐班45名、自然観察班24名に分かれて活動しま
 した。

間伐班は7班に分かれて、直径15~20cm、樹高10~
 15mのスギ、ヒノキに挑戦して、各班、1~2本の伐倒を行
 いました。ベテランの方も多く、多少の掛かり木はありま
 したが、作業は順調に進んで、全班、作業を完了しました。
 皆さん、倒した時の達成感と、伐倒後に現れる青空のすが
 すがしさに、疲れも吹っ飛んだことでしょう。

自然観察班は2班に分かれて、紅葉が始まり、赤や黄
 色の落ち葉が目にも鮮やかな、やどりき水源林を散策しま
 した。花は、野菊が咲いており、ヤブムラサキやミヤマシキ
 ミの実が彩りを添えていました。その中を、元気なお子様
 達と参加者の皆さまと共に歩きながら、水源林の役割や、
 森林整備の大切さをお話いたしました。陽だまりには、
 冬ごもりをしに集まった沢山のテントウムシが飛び交い、大
 変幻想的な風景でした。

その後、全員でコースター作りを行いました。径10~15
 cmのヒノキ材を10~20mmの厚さに伐り、ご自分で作っ
 たコースターのヒノキの香りを楽しんで、予定の活動を終
 えました。

(記 西出健一⑫、赤崎さほり⑫)

◆ タカナシ乳業株式会社 水源林整備活動

タカナシ森の整備と森林癒やし体験(清流ウォーキング)

- 日 平成29年11月11日(土)9:00~15:00、晴れ
 場 松田町寄 やどりき水源林
 参 14名(大人13名、子供1人)
 県 大西様
 イ L宮下⑩、若林⑦、草野⑧、山下⑪

心配した天候も活動開始前には秋晴れとなり、紅葉がきれいなやどりき水源林での活動日となった。

オリエンテーションでは県の大西様からご挨拶をいただき、その後、活動内容の説明やストレッチを兼ねた体操を行った。作業装備を準備してタカナシの癒やしの森である溪畔林に向かう。

作業は、倒木の処理と下草刈り作業。初めての下草刈り作業のため鎌の使い方や安全作業を説明。作業後、振り返りを行うとともに、全員でハーブティの試飲を楽しんだ。

午後のプログラムは、紅葉を楽しみながらの初めて体験する清流ウォーキングでスタート。寄沢の流れも安定しており、安全ルートによる沢歩きである。目的地はタカナシの森。



到着後、五感を使った森林癒やし体験を開始。ハンモックや水の流れる音を枝で聴く木伝導を体験。休憩棟横では色のグラデーションを楽しむとともに、座観や呼吸法を実施。樹林内では森の香りや1/fの揺らぎを感じていただき、ゆっくりゆったりとした森林浴となった。滝郷の滝ではマイナスイオンを体いっぱい浴びていただいた。

事故もなく安全に活動ができたこと、また、募金活動にもご協力いただき感謝の気持ちいっぱいである。一面紅葉のやどりき水源林で、ゆったりと一日を過ごしていただけたのではないのでしょうか。

(記 宮下 修一 ⑩)

◆ 伯東グループ

第10回 森林活動“枝打ち”

- 日 平成29年11月11日(土)10:30~12:30、晴れ
 場 南足柄市 塚原ボランティアフィールド
 参 18名
 イ L村井⑨、伊藤⑦

朝から降っていた雨も午前8時過ぎには止み、太陽が輝く秋晴れの中、集合時間通りマイカー及びタクシーにて、参加者全員が到着。早速、用具を装着の後、リーダーから、枝打ちについての説明に加え、安全目標を伝えて現場に向かう。

傾斜の急な、植樹後15年のヒノキ林で、初めて行う枝打ち作業、木の根元から目の高さまで殆どの枝が、枯れ枝でした。慣れた方も多く予想した以上の出来栄で、100本近くの成果。

作業の後を振り返り、明るく綺麗になった林内を見て満足の様子。初参加の女性も楽しく作業が出来、また、参加したいとの感想が有りました。

(記 伊藤 恭造 ⑦)

◆ 県立 21 世紀の森

未病対策プログラム「ジオパークの矢倉岳に登ろう②」

日 平成 29 年 11 月 11 日 (土) 8:00～14:30、 晴れ

場 県立 21 世紀の森～矢倉岳

参 9 名 (男性 7 名 内小学生 1 名 女性 2 名)

スタッフ 21 世紀の森 辰己様 平井様

イ L 上宮田⑩、白畑⑦

箱根ジオパークという新しい視点を加え・自然に触れながら 21 世紀の森園内から矢倉岳山頂をめざす一日です。

早朝の暴風雨で心配されましたが集合時には晴天となり無事開催 8 時に集合・打合せ・受付・あいさつ・スタッフ紹介・全体の流れを説明し森林館前駐車場にて全員写真を撮り出発することが出来ました。

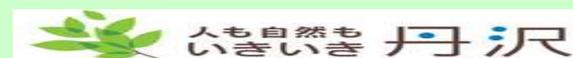
今回はドローン撮影の方にも同行いただき楽しみが倍増です。セントラル広場付近の広葉樹林帯ではイチヨウ・モミジの彩を楽しみ杉・檜林では人と自然との共生に触れながら山頂を目指します。

歩き始めて 1 時間 30 分程で稜線の山伏平へ到着。ここから山頂までは振り返れば絶景の富士と丹沢連山を見ることができ、皆その景色に感激です。

足元のリンドウにも心奪われ、いよいよ登頂！ 本日も矢倉岳は大人気で 100 人余りの人に出会いました。

風が強いため 早めに万葉公園へと下山。万葉公園からは 21 世紀の森手配の車に分乗し森林館へ戻り昼食・懇親後アンケートにご協力いただき 14:30 に終了、事故もなく皆大満足の矢倉岳登山となりました。

(記 上宮田 幸恵 ⑩)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 県民参加の森林づくり 間伐

日 平成 29 年 11 月 12 日 (日) 8:30～14:00、 晴れ

場 湯河原町鍛冶屋 (町有林)

参 39 名

財 豊丸課長、鳥海様 看 青木様

イ L 松永⑩、高橋③、相馬⑤、小野⑦、有坂⑧、鈴木⑧、水津⑨、大澤⑩、小笠原⑩、後藤⑩、松本⑩、宮下⑫、北村⑬、藤代⑬、前田⑬、牧石⑭、研 宇田川⑬

朝から晴天に恵まれ、湯河原駅に 8:30 集合。マイクロバス 4 台に分乗して現地へ向います。奥湯河原の紅葉が心地よく窓を流れていきます。現地へ到着してオリエンテーションの開始、ストレッチ体操して体が温まったら道具とヘルメットを身に付けて山に入ります。本日、伐倒する森林

は 35 年生ヒノキです。直径が 20cm 以上あり気合いを入れないとケガに繋がります。

4 班すべての班が枝掛かりして倒してからの処理に苦労していましたが、メンバー全員で協力した後は玉切り作業です。20cm 以上の丸太を手鋸で切断するのは結構な労力が必要ですが、汗をかきながら切断して、等高線状に並べて作業終了です。参加者 39 名に対して全部で 17 本のヒノキを伐採出来て参加者は満足して帰宅できたと感じました。

(記 松永 廣 ⑩)

◆ 富士通株式会社 神奈川支社
水源の森づくり

日 平成 29 年 11 月 11 日 (土)、 晴れ

場 南足柄市 塚原はじまりの森、21 世紀の森

参 女性 7 名 男性 17 名 幼児 1 名

県 岩崎様 中田様

イ L 小笠原⑩、齊藤⑧、杉崎⑩

前日までお天気が気がかりであった。昨年 11 月は雪で中止、今年春は午前中の作業を雨のため取りやめ午後のクラブのみであったので企業担当者も私達も晴れを祈っていた。朝は前線通過のどしゃぶりだったが皆さんが見える頃には好天気になりホッとす。

今回は初めて植栽を行なった。インストラクターがまず見本をみせてからケヤキ・コナラ・ヤマボウシ・ホウノキ・イロハモミジ・ヤマザクラを植えて頂いた。急斜面での作業で苦労されている方も多々みうけられた。大きく育つことを祈って 21 世紀の森に移動する。

午後の 21 世紀の森ではノルディックウォーキングをしながらの自然観察を行なった。五感を楽しむのを目的として散策する。ムクロジの洗剤 クルミの殻 クサギやクスの匂い普段と違った散策だったので参加者にも好評だった。

(記 小笠原 多加子 ⑩)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。全国で 5 番目 / NPO 法人で初めて委嘱されています。

やどりき水源林ミニガイド

1月のトピックス

平成30年の山の神祭が行われました。(詳細は3月号に掲載)



(山の神詣でに続々集合 1/14撮影)

2月の水源林

やどりきは冬の真ただ中。小鳥や動物がコソコソ動きまわっています。うまくすると遭遇するかも。

「森の案内人」情報

(12、1、2月は休みとなります)

「森の案内人」情報

案内人がご案内します。案内と事故保険は無料です。

- 実施時間: 毎週土曜・日曜・AM10時・PM1時, 1~2時間程度
- 集合: 水源林入口ゲート前
- 内容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- *10人以上の団体は事前下記までご連絡ください。
- 問合せ: (公財)かながわトラスみどり財団 TEL: 045-412-2255 FAX: 045-412-2300
- ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>
<http://ktm.or.jp/contents/event/h27/yadorikil27.html> E-mail: midori@ktm.or.jp
- やどりき水源林までの道順
小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。
寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

湯河原梅林(幕山公園)



期間: 2/3(土)~3/11(日) 9:00~16:00

ライトアップ: 2/24(土)~3/4(日)

18:00~20:30

問合せ先等: 湯河原町観光課

TEL: 0465-63-2111 Fax: 0465-64-0300

<http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/kankou/event/ume-top.html>

◇ **森のなかま原稿募集** ◇

会員・読者の皆様から広く原稿を募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 赤崎 さほり

Mail: s_akasaki-k_instructor@live.jp

Tel: 090-6150-6173

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail:

kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fukky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP担当: 井出恒夫)

編集後記

★厳しい寒さの中、足早に歩いていると、香りのよいロウバイが咲いていました。春の訪れが感じられます。

(大塚)

★年末にインフルエンザに罹患してから、体調が平常に戻るのに1ヶ月位かかりました。咳は辛かったです。

(赤崎)

★私だけは大丈夫!と思っていたらインフルエンザにかかってしまいました。ご用心!ご用心!

(小川)

★1/14の山の神祭に出席しました。15期の新しいメンバーを迎え、何もわからなかった2年前のことを思い出しました。2、3月号に来年度の案内が入ります。まずは、別冊をよく見て何かに参加することが大切です。

(黒川)

★南岸低気圧が通過して、関東にも雪が降るかも?って季節になりました。春がもう其処まで来てる。花のつぼみも大きくなってもう少し。

(吉田)

★節分までの30日間は『寒の内』で一年でもっとも寒い時期です。寒中見舞いもこの時期です。私の故郷ではこの時期の体感を寒じる(かんじる)と言っていました。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

- 編集人: 松本 保
- 事務局: 福島 正治
- 広報部: 大塚晴子 赤崎さほり
小川和恵 藪田栄哉
黒川敏史 吉田郁夫
- 支援: 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

第20回 まつだ桜まつり

開催地: 神奈川県松田町西平畑公園
(松田山ハーブガーデン)

開催期間: 2月10日~3月11日 09:00~17:00

5分咲き頃からライトアップ開始。

ライトアップ時は21:00まで開園

問合せ:

松田町役場観光協会 電話番号: 0465-85-3130

関連サイト:

<http://lets-go-matsuda.com/> (外部サイト)

